

平成31年3月10日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

認定NPO法人 IVY

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名： スマホから考える世界・わたし・SDGs

企画実施概要： ①実施内容
スマートフォンの生産工程で起きている課題を知るとともに、持続可能な開発目標（SDGs）について知り、自分達にできることを考える

②対象者および参加人数

参加者 32人（中学3年生）

2 出張者氏名 小笠原 直子

3 依頼元／主催団体名 八戸聖ウルスラ学院中学・高等学校

4 実施予定日時 平成31年2月2日（土） 10:00～11:30

5 実施場所 八戸聖ウルスラ学院中学・高等学校（青森県八戸市）

6 実施報告 参加者の感想
・SDGsで1つの目標を達成すると、他の目標が達成されないため、その差を少しでも少なくするために、私たちは努力するべきだと思った。
・スマホが大量に廃棄されている事実を知り、廃棄しないためにあまり作らないように調整できないのかと感じた。私たちはどんなスマホを使ったらいいのか、考えさせられた。

7 写真

	
団体紹介を行うNGO相談員。	スマホに関するクイズの回答を考える生徒。

（写真1）

（写真2）

以上

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

- 企画名：** 平成30年度国際理解講座（会津若松市国際交流協会）
- 企画実施概要：** ①実施内容：福島県会津若松市の国際交流協会が毎年実施している国際理解講座において、スマホとSDGsを扱ったワークショップを実施した。最初に、弊団体のODAを活用したカンボジア、イラク、バングラデシュおよびNGO相談員制度について、説明し、その後ワークショップを行った。
- 【ワークショップ内容】**
- ①スマートフォンに関するクイズ
 - ②スマートフォンの原材料の調達に関連する課題を考える
 - ③持続可能な開発目標（SDGs）について知り、自分達にできることを考える
- ②対象者および参加人数：一般市民、行政職員、協会会員 計14人

2 出張者氏名

阿部真理子

3 依頼元／主催団体名

会津若松市国際交流協会

4 実施予定日時

平成31年2月17日（日） 14:00 ～ 16:00

5 実施場所

会津若松市生涯学習総合センター（會津稽古堂）3階（福島県会津若松

6 実施報告

- ・消費財をただ使うだけでなく、人権的な問題等を理解した上でのスマホの使用や、グローバルな世界の動向を知ろうとする姿勢が必要だ
- ・スマホが全世界とつながっていること、特に産出国の貧困や内戦とも関連があるということが一番印象的だった。
- ・世界中の人たちが安全・安心に暮らせる社会をわたしたち一人一人が考えていく必要があることを感じた。

7 写真



グループごとに、ワークショップのテーマについてどう考えているかを交えての自己紹介

（写真1）



SDGsとスマホの関係について、ワークシートに記入している参加者。

（写真2）

以上

平成31年4月22日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
国際協力NGOセンター

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名: Back pack FESTA 2019 TOKYO

企画実施概要: ①実施内容
国際協力に関わる人生を参加者が考えるきっかけとする「旅後のキャリアと国際NGO～旅した僕らができる事～」をテーマにした講演と個別相談を行った。
②対象者および参加人数
学生、社会人。講演参加は60人。

2 出張者氏名 山田直樹

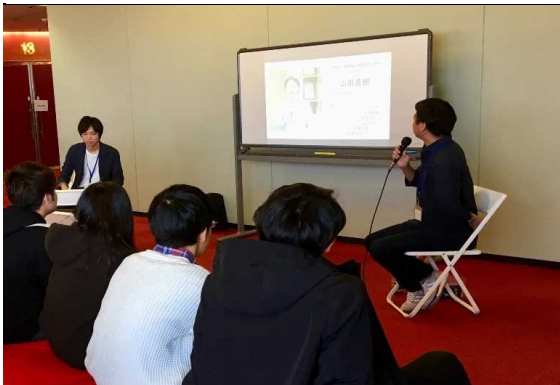
3 依頼元／主催団体名 TABIPPO

4 実施予定日時 平成31年2月20日（水） 13:30～17:00

5 実施場所 神奈川県民ホール（横浜市中区山下町3-1）

6 実施報告
・国際協力の就職は敷居が高いと思っていたが、まずはスタディーツアーの参加や、インターン、ボランティアとして関わることができると知った。
・アジアへ旅行によく行くが、NGOのスタディーツアーの参加に関心を持った。ODAの現場も見てみたいと思った。
・企業や公務員として仕事をして経験を積んでから、国際機関やNGOへの転職する人も多いと聞いて、自分のキャリアを考えるきっかけとなった。

7 写真



「旅後のキャリアと国際NGO～旅した僕らができる事～」としてNGOへの就職を提案

(写真1)



海外の旅行や留学に関心のある学生、社会人が参加

(写真2)

以上

平成31年4月22日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
開発教育協会

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名：よこはま国際フォーラム2019

企画実施概要：①実施内容
神奈川県内で活動する団体を中心に、NGOや国際協力、開発教育や国際理解教育に関する団体が一堂に会する「よこはま国際フォーラム2019」において、ワークショップ「世界がもし100人の村だったら～SDGsを一緒に考えよう」を実施した。

②対象者および参加人数
国際協力・国際交流・多文化共生に関心のある市民、学生等 のべ来場者1800人
(依頼ワークショップ受講者は約30名)

2 出張者氏名

岩岡由季子

3 依頼元／主催団体名

よこはま国際協力・国際交流プラットフォーム運営委員会事務局

4 実施予定日時

平成31年2月3日 (日) 11:00～12:50

5 実施場所

JICA横浜(神奈川県横浜市中区新港2丁目3-1)

6 実施報告

・国際協力や開発教育、国際理解教育に関心のある参加者約30名を対象に、ワークショップ「世界がもし100人の村だったら」を実施した。今回はSDGsに注目してワークショップを行い、シミュレーションの後・資料コーナーにパンフレットや教材見本を置き、開発教育や教材の活用方法に関する質問や相談に対応した。開発教育になじみがある参加者が多く、教材の活用方法についての質問が多くあった。

7 写真

	
ワークショップの様子①	ワークショップの様子②

(写真1)

(写真2)

以上

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名： 上尾市立東中学校 進路・キャリア教育講演会

企画実施概要： ①実施内容
中学生1年生を対象にした講演会。企業、社会的企業、NGOの3人のゲストを迎え、それぞれのキャリアについて聞き、質疑応答を行う。特に、SDGs達成に向けてゲスト自身の職業がどのように関係しているの
②対象者および参加人数
中学1年生200名が参加した。

2 出張者氏名 八木亜紀子

3 依頼元／主催団体名 埼玉県上尾市立東中学校

4 実施予定日時 平成31年2月19日（火） 13:30～15:30

5 実施場所 埼玉県上尾市立東中学校（埼玉県上尾市上尾村479）

6 実施報告
・講演会の2つの目的、「働くこととSDGsを関連付ける」そして「働くことで社会課題を解決しようとする意識が高まる」に沿って事前学習も実施されていたため、生徒からの質問の手も次々と挙がった。NGOの
・後日送付されてきた感想文には「個人が変われば社会が変わる。悉皆行動したいと思った」「途上国の人だけでなく、私たちも変わるべきだと思った」「どんな仕事でも持続可能な社会に関わるのだとわかった」

7 写真



講演の様子①



講演の様子②

(写真1)

(写真2)

以上

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名： 開発教育・国際理解教育実践報告フォーラム2019
企画実施概要： ①実施内容：愛知、岐阜、三重、静岡の東海4県の教育実践指導者を対象にした研修の実践報告フォーラムにて、チラシやパンフレット等NGO情報を配架。来場者に対して、活動紹介と相談対応を行った。

②対象者および参加人数：教師および教育関連事業実践者、教育の関心のある一般来場者約160名

2 出張者氏名

堀川絵美

3 依頼元／主催団体名

JICA中部（事務局：名古屋NGOセンター）

4 実施予定日時

平成31年2月10日 （日） 10：00 ～ 15：10

5 実施場所

JICA中部なごや地球ひろば（住所：愛知県名古屋市）

6 実施報告

<相談内容（一部）>
 ・海外でのボランティア活動に興味があるが、なかなか時間が作れない。国内でもできることはあるか。
 ・スタディツアーに行きたい。どのような団体、行先、内容のツアーがあるのか知りたい。
 ・授業で国際理解教育を実践している。教材となるような情報を知りたい。
 ・学生（高校生）が関われるNGO活動はあるか。あれば生徒に関わらせたい。

7 写真

	
会場の様子	チラシ・パンフレット配架の様子

（写真1）

（写真2）

以上

平成31年4月22日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
アイキャン

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名： 恵那市立中野方小学校における講演会

企画実施概要： ①実施内容
恵那市立中野方小学校の「社会科」の授業において、「世界各地で日本が行っている国際協力」というテーマで講演を行う。
②対象者および参加人数
恵那市立中野方小学校6年生の児童14名、教諭1名

2 出張者氏名 認定NPO法人アイキャン 西坂幸

3 依頼元／主催団体名 恵那市立中野方小学校

4 実施予定日時 平成31年2月5日（火） 10:40～11:25

5 実施場所 恵那市立中野方小学校（住所：恵那市中野方町2353番地1）

6 実施報告 小学校6年生を対象にNGOの活動として、路上の子どもたちと紛争地域の子どもたちについて講演を行った。参加した児童からは「世界には勉強したくてもできない子どもたちがいると知り、勉強は嫌いだったが今後は感謝して勉強を頑張りたい」「今はボランティアなどできる事を行い、将来は世界の問題を解決する仕事に就きたいと思った」など、何か自分にできる事を行動に起こしたいという意欲が伺えた。また、NGOの資金面や、どんな人がボランティアを行っているのかなどの質問を頂き、初めて聞く世界の現状やNGOの活動への関心を喚起する事ができた。

7 写真



児童たちは、初めて聞く世界の現状やNGOの活動に高い関心を持ち、質疑応答では講演の中での疑問点を積極的に質問してくれた。

（写真1）



実際の海外経験を直に聞く事で、今まで感じた事のなかった「世界の現状に対する思い」を持ってもらう事ができた。

（写真2）

以上

平成31年4月22日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人
アイキャン

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

- 企画名： 「第9回はままつグローバルフェア」における相談対応サービス
- 企画実施概要： ①実施内容
静岡県浜松市で開催される「第9回はままつグローバルフェア」において、来場者および出展団体への相談対応業務を行った。
- ②対象者および参加人数
来場者 約4,700人

2 出張者氏名

吉田 文

3 依頼元／主催団体名

公益財団法人 浜松国際交流協会

4 実施予定日時

平成31年2月10日 (日) 10時00分 ～ 17時00分

5 実施場所

クリエート浜松 (住所：静岡県浜松市中区)

6 実施報告

国際協力や、多文化、ボランティア等に関心を持つ人々が集まるイベントだが、開始直後はブースに来る人は限定的であった。会場内でチラシを配ったり、相談員の説明をしながらまわると、午後からは頻繁に来場者や出展者が相談に来るようになった。特に目立ったのは就職やボランティア相談であった。主な内容は、国際協力分野への就職に必要な専門性や資格、キャリアアップの方法についてであった。相談者からは「このような相談をできる場所があつて助かった。今後も活用したい」「どこに相談してよいのかわからなかったが、的確に答えて頂けて嬉しかった」という言葉を頂戴した。潜在的な相談ニーズが多いため、もっと認知度を上げていく必要があると感じた。

7 写真



(写真1)

(写真2)

以上

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

- 企画名：2018年度 地球市民を地域とともに育てよう
/国際教育ワークショップにおけるNGO相談員ブース出展
- 企画実施概要：①実施内容
(公財)滋賀県国際協会、JICA関西主催による開発教育セミナー会場で
NGO相談員ブースを出展し、教員及びNGOからの相談に対応した。
②対象者および参加人数
中学・高校の教員及びNGO関係者40名
- 2 出張者氏名 高橋美和子
- 3 依頼元／主催団体名 (公財)滋賀県国際協会
- 4 実施予定日時 2月10日（日）10:00～16:30
- 5 実施場所 ビアザ淡海 3階 305会議室（滋賀県大津市）
- 6 実施報告 ①滋賀県立守山高等学校の教員より、授業のプログラムにSDGsを取り
入れたいとのこと。SDGsの広がりとともに教育現場でもSDGsについて
学習する意欲が高まっているが、実際は教え方がわからず現場が懇談し
ているという相談を受けた。
②滋賀は昔から環境問題に対する意識が高いが、SDGsの背景にある
「人権」「人道」への関心が低いため、SDGsについては「環境」部分
が強調される傾向にあるとのこと。ブースに来られた方からは、こうし
て詳しく教えていただけるNGOやJICA職員による勉強の場を今後も提供
していただきたいとの声をいただいた。
③ワンフェスユースに関心を持つ中学教員がブースにこれ、NGOの活
動などを中学生にも広く知ってもらいたいので、中学校にも広報用チラ
シを配布いただきたいという要請を受けた。ほかの中学からも同様の相
談があり、次年度は前向きに中学校へのチラシ発送も検討することとし
た。

7 写真

	
開発教育セミナー会場の様子	高等学校の教員の相談対応

(写真1)

(写真2)

以上

平成31年2月1日

外務省国際協力局民間援助連携室

公益財団法人PHD協会

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名： 関西学院高等部での国際協力についての講演

企画実施概要： ①実施内容
スーパーグローバルハイスクールの認可を受ける高校にて、国際協力についての講義を実施。具体的な内容は下記。
・国際協力概論
・NGO相談員制度の説明
・国際協力の事例としてアジアの農村での活動
②対象者および参加人数
SGH授業履修者 一年生4名、二年生4名、教師6名、計14名

2 出張者氏名 坂西 卓郎

3 依頼元／主催団体名 関西学院大学 教育学部

4 実施予定日時 平成31年2月1日 (金) 10:10～11:35

5 実施場所 関西学院高等部 西宮上ヶ原キャンパス
(兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155)
距離 往復42km

6 実施報告 本授業はスーパーグローバルハイスクール(以下、SGH)の授業の一環として実施された。学生は公休を使つての参加のため、8名に留まったが同校が実施するカンボジアスタディツアーに参加する学生もいるなど意識の高い学生たちであった。
実施内容は上記の通りだが、少人数であること、意識が高い学生が多いことから、講義＋フリーディスカッション形式をとった。学生たちは同行したアジアの研修生たちと国際協力について直接質問を行った。テーマは人身売買、識字率、イスラム教、女性差別などであった。
短い時間ではあったが、国際協力について中身が濃い学びができたと思われる。同校が推進するSGHの一助となり、国際人材の育成に寄与できたように感じる。

7 写真

	
(キャプション) NGO相談員制度の説明をしている様子	(キャプション) 終了後、学生たちとの集合写真

(写真1)

(写真2)

以上

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名: ワン・ワールド・フェスティバル2019での相談対応

企画実施概要: ①企画実施概要: 2月2日、3日に開催されたワンワールドフェスティバルにて、NGO相談員6団体による相談コーナーを設け、来場者に個別相談に応じ、国際協力に関する情報を提供した。

②対象者および参加人数

ワン・ワールド・フェスティバルの参加者である一般市民、NGO関係者を対象に、86名の相談に対応した。

2 出張者氏名

坂西 卓郎

3 依頼元／主催団体名

ワン・ワールド・フェスティバル実行委員会

4 実施予定日時

平成31年2月2日(土)～3日(日)

10:00～17:00

5 実施場所

カンテレ扇町スクエア・北区民センター・扇町公園

(大阪市北区扇町2-1-7)

距離 往復66km

6 実施報告

NGO相談員団体6団体(NICCO、KNC、PHD、ICAN、JANIC、DEAR)で総数86件の相談に対応した。また相談に対応するだけでなく、チラシ配りや芸能人とのコラボなど、NGO相談員制度のPRに注力した。

相談者区分	2/2	2/3
1 NGO関係者	7	19
2 教育関係者		
3 学生・生徒	32	10
4 行政・政府関係者		
5 マスコミ		
6 企業・労組	1	
7 会社員・自営業者	12	4
8 その他		1
合計件数	52	34

相談内容区分	2/2	2/3
1 団体設立・NPO法人格取	1	
2 組織運営・マネージメント	9	5
3 NGO団体・NGOの活動	8	9
4 ボランティア・スタディーツ	8	2
5 インターン・就職相談	20	15
6 緊急援助・海外情勢		1
7 募金・寄付	2	
8 国際協力イベント		1
9 開発教育・フェアトレード・		
# ソーシャルビジネス・BOP	2	
# ODA政策一般・国際協力	2	
# その他		1
合計件数	52	34

7 写真



(キャプション) 相談対応の様子

(写真1)



(キャプション) 草の根大使・ペナルティとコラボPR

(写真2)

以上

平成31年4月22日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人

えひめグローバルネットワーク

NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名：

企画実施概要：

①実施内容

JICAと香川県国際交流協会主催の国際理解教育イベントに相談員ブースを設けて市民の国際協力に関する質問や相談に対応するとともに、NGO相談員のチラシの配布・ポスターの展示を行うことで普及啓発を行った。また、冊子「四国・国際協力NGOとODA」、ESD・SDGs関連資料等の配布・活用、四国のNGO紹介パネルの展示を行うことで、四国の国際協力団体の活動についての広報を行った。

②対象者および参加人数

一般市民 約30名

2 出張者氏名

菅未帆

3 依頼元／主催団体名

独立行政法人 国際協力機構 四国センター

4 実施日時

平成31年2月17日（日） 9：30～16：30

5 実施場所

アイパル香川 3F会議室（香川県高松市）

6 実施報告

参加者からの声

① 大学生：学生のうちに国際協力活動に参加したいと考えている。香川県の情報だけでなく四国各県のNGO情報を知る事ができ大変勉強になった。

② 中学校教員：四国の国際交流NGOの各取り組みを知り、当校にも話に来ていただきたいと思った。外務省NGO相談員出張サービスを活用したい。

③ 日本語教諭：多文化共生に資する情報や、災害時の外国人対応に関連する情報など具体的な他県の現状を知る事ができ、学びの多い時間となった。

7 写真



ブースPR

SDG s 参加型プログラムワークショップ

(写真1)

(写真2)

以上

団体名 特定非営利活動法人
N G O 福岡ネットワーク

N G O 相談員による出張サービス実施報告

N G O 相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

記

1 企画名および企画概要

企画名： 国際理解・国際交流イベント『クロスロードコミュニケーション』への登壇・相談対応
企画実施概要： ①実施内容

毎月第2土曜日にJICA九州で開催される二部形式の国際理解・国際交流イベント『クロスロードコミュニケーション』でのNGO相談。第一部『異文化理解セミナー』にて、青年海外協力隊の体験談やNGO相談員としての仕事、国際協力への参加についてのアドバイス等を話す。第二部のJICA研修員との交流パーティの中では、日本人参加者に対し具体的に国際協力活動に関する様々な相談を個別に行う。

②対象者および参加人数
約30名の一般参加者および運営スタッフ

2 出張者氏名 住本大輔
3 依頼元／主催団体名 福岡県青年海外協力協会北九州支部
4 実施日時 2019年2月9日(土) 10:35～11:20
5 実施場所 会場名：JICA九州（北九州市八幡東区平野2-2-1）
6 実施報告 N G O 福岡ネットワーク事務局スタッフの住本大輔が青年海外協力隊の経験談、そして帰国後のNGO職員としての仕事についてお話ししました。住本は、福岡のラジオ局に勤めた後、青年海外協力隊としてインドネシアでPCインストラクターを経験。現在はFUNNの事務局員を担当しつつ個人事業主としてメディアの仕事もしています。そんな珍しい経歴をたどってきた結果NGOとしてどんなことができるか？重要と考えているか？をお話しさせていただきました。特に広報・P R部分は専門家を交えてでないとなかなか難しい部分。こういった戦略で動いているのか、これからどうすべきかといったお話をさせていただきました。「異文化理解セミナー」の後の「国際交流パーティー」では個別に様々な質問へ回答。楽しく実りある時間となりました。

7 写真

	
事務局スタッフの住本がインドネシアでの青年海外協力隊としての活動をお話ししました。	参加者のみなさんからは、他業界からNGOに入りたての住本が、国際協力の現状をどうとらえているか、といった質問がありました。

(写真1)

(写真2)

以上